

# 房総かるた本塩Aが優勝!

## 12地区 子ども会かるた大会

房総かるたを楽しむこと  
で千葉県の歴史や産業を知  
ってもらおうと、市川市第  
12地区(行徳)子ども会育  
成会連合会(大林和彦地区  
長)は、先月4日、第七中  
学校ランチルームを会場に  
第13回「房総かるた大会」  
を開催。子ども87人、大人  
13人が参加しました。

かるたは、千葉県の名所  
や歴史、産業ほかを札に詠  
み込んだ「房総かるた」を  
使用。参加者らは今まで知  
らなかった千葉県的事を楽  
しみながら学べるという  
皆喜んで臨みました。

大会には、7子ども会か  
ら28チーム。大人は3育成  
会から4チームが出場。子  
どもの試合は、4チームず  
つAからFブロックに分け  
て、予選リーグ(総当り)  
を行い、各ブロックで取り  
札の一番多かったチームが  
決勝トーナメントに進出。  
会場には、会場校の藤平  
一成校長、塩浜小学校の嶋  
田信子校長、行徳小学校の  
鳥越義光教頭、県内で最大  
の子ども会員数を誇る市川  
市子ども会育成会連絡協議  
会石井克己会長らを来賓に  
迎えて、午前9時に阿部と  
み子第12地区副会長の司会  
で進められ、来賓や子ども  
たち、大勢の保護者らに大  
林地区長は感謝を述べた

後、「選手の皆さん、育成  
者の皆様おはようございま  
す。この大会は、かるたを  
通して私達の住んでいる千  
葉県の歴史や文化を学ぶこ  
とで、郷土愛を高め、子ど  
も会活動の活性化と健全な  
仲間づくりを目的に開催し  
ます。大会は(子ども会  
育成者の協力)があつて出来  
るものですので、今後も宜  
しくご協力をお願い致しま  
す」と日頃の活動協力に感  
謝を述べました。

次いで、各来賓が選手の  
健闘を願い、「楽しい大会  
にして優勝をめざして下さい」と激励しました。

87人の子どもたちにとっ  
ては、校長や教頭先生が来  
てくれた事は何倍もの勇氣  
と張り合い、励みとなつて  
大張り切り。校長先生は子



試合前、かるたを見詰めて緊張が走る選手たち

どもたちにとっては何事も  
信じられる偉大な存在。  
試合は床に敷かれたカー  
ペットの上に1チーム3人  
編成で対面正座。静まり返  
った室内に緊張感が張り詰  
める中、選手らは真剣な眼  
差しで4列に並べられた札  
に息を凝らして見つめ、読  
み手に耳を傾けて札を素早  
く取る技は見事なもの。  
普段は学校で友達同士だ

が、この日は別。敵、見方  
となつて熱い闘いを繰り広  
げた結果、決勝トーナメン  
トに進出した7チームで優  
勝を懸けた激戦を行った  
末、決勝戦には、一・二回  
戦を勝ち上がった本塩A対  
末広Bが進出。試合は両者  
互角の白熱戦を展開した結  
果、本塩Aが取り札24枚対  
20枚で優勝に輝きました。

優勝した本塩の赤羽夢波  
さん(6年)は「3人で沢山  
練習してきました。本番で  
その成果が出て良かった  
です。最後の決勝戦はギリ  
ギリで勝ったのでうれしい  
です」。松原のんさん(同)  
は「二連覇できて良かった  
です。ラスト2枚で1対1  
で戦って、2枚を取れば良  
かった」。千年莉子さん(同)  
は「二連覇できた事と最後

数字は取り札枚数  
本塩子ども会A

24	24	17	21	15	29
20	29	15	22	15	29
本行徳2丁目B	本塩A	本塩C	本行徳2丁目C	末広G	末広B

※資料は大林地区長提供。  
■決勝トーナメント

(6年)のかるた大会で優勝  
できた事がうれしいです。  
予選から決勝まで3人が協  
力でできてとても楽しかった  
です。かるたを学んで千葉に  
ついて学べました」と3人  
とも練習と協力の成果を喜  
んでいました。

3位決定戦は、本塩B対  
本行徳2丁目Bで行い、31  
枚対13枚で本行徳2丁目B  
大人の部は、関ヶ島Aが  
優勝。準優勝は本行徳4丁  
目Bチームでした。